

平成23事業年度

# 決算報告書

自：平成23年 4月 1日

至：平成24年 3月31日

国立大学法人東北大学

平成23年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	75,414	75,414	-	
うち補正予算による追加	27,487	27,487	-	
施設整備費補助金	34,393	9,744	△ 24,648	(注1)
うち補正予算による追加	33,365	6,205	△ 27,161	
補助金等収入	8,271	9,360	1,089	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	1,176	1,521	345	
自己収入	45,174	46,233	1,060	
授業料、入学金及び検定料収入	9,478	9,835	357	
附属病院収入	30,932	31,793	861	(注3)
財産処分収入	-	719	719	(注4)
雑収入	4,763	3,887	△ 876	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	21,095	22,805	1,710	(注6)
引当金取崩	-	225	225	
長期借入金収入	1,710	3,964	2,254	(注7)
前中期目標期間繰越積立金取崩	1,189	828	△ 362	
計	188,422	170,094	△ 18,327	
支出				
業務費	117,079	100,626	△ 16,452	
教育研究経費	90,522	71,949	△ 18,573	(注8)
うち設備災害復旧事業	26,868	8,746	△ 18,123	
診療経費	26,556	28,677	2,120	(注9)
施設整備費	37,278	14,442	△ 22,837	(注10)
うち施設災害復旧事業	26,622	6,177	△ 20,445	
補助金等	8,271	9,799	1,528	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	21,095	15,556	△ 5,539	(注12)
長期借入金償還金	4,699	4,687	△ 12	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	188,422	145,110	△ 43,312	
収入-支出	-	24,985	24,985	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、外来診療棟改修、スマートエイジング国際共同研究センター、インテグレーション教育研究棟、工学系実験研究棟改修、総合研究棟改修(歯学系)、中性子非弾性散乱装置、高機能金属ガラス作製・評価システムにより、予算額に比して決算額が3,052百万円多額となっています。また、総合研究棟改修(流体科学系)、メディカルサイエンス拠点施設、ユニバーシティハウス三条Ⅱ、総合研究棟改修(学術資源拠点、多元研)、災害復興・地域再生重点研究拠点施設、地域医療・被災地支援教育研修センター、地球温暖化防止フィールド教育研究施設、国際交流支援センター、災害復旧事業Ⅱの繰越により、予算額に比して決算額が27,700百万円少額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、設備整備費補助金等の受入により、予算額に比して決算額が1,089百万円多額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、病床稼働率の向上、入院単価増等により、予算額に比して決算額が861百万円多額となっています。
- (注4) 財産処分収入については、青葉山新キャンパス整備事業の収入による増711百万円等により、予算額に比して決算額が719百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、科研費等間接経費、財産貸付料収入、雑入の受入等により、予算額に比して決算額が916百万円多額となっています。また、預り補助金等間接経費、特許権実施料等収入等により予算額に比して決算額が1,793百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、産学連携等研究収入において予算額に比して決算額が2,029百万円多額となっています。また、寄附金収入においては、受入の減により、319百万円少額となっています。なお、前年度からの繰越分として3,594百万円を計上しています。
- (注7) 長期借入金については、外来診療棟改修事業により、予算額に比して決算額が2,254百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、業務達成基準適用業務の業務未実施分に係る運営費交付金相当額の繰越による減22,522百万円等により、予算額に比して決算額が21,285百万円少額となっています。また、青葉山新キャンパス整備事業の支出による増480百万円、補助金等間接経費の支出による増1,368百万円等により、予算額に比して決算額が2,712百万円多額となっています。
- (注9) 診療経費については、病院収益の増加等により、予算額に比して決算額が2,120百万円多額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注1)、(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が22,837百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,528百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金等の繰り越し等により、予算額に比して決算額が5,539百万円少額となっています。